

令和8年度 第1回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月28日（火） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、鈴木一誠、伊藤誠一、山関ひで子、鈴木隆広
吉田さやか、郁山明日香、
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 原田 樹（亀玉協働センター職員）北野谷富子（R7PTA 会長）
森田智佳（主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 竹田良子（校長）、吉川利行（教頭）、高林圭吾（教務・CS 担当）、
大桑将史（いじめ対策コーディネーター）、村瀬美恵子（CS ディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 村瀬美恵子（CS ディレクター）
- 10 協議事項

（1）学校運営構想について

- ①学校運営構想の説明 ○学校の現状 ○令和8年度学校運営構想
- ②改善案の検討 ③承認

（2）学校いじめ防止基本方針について

- ①学校いじめ防止基本方針の説明 ②改善案の検討

（3）学校運営協議会の方針について

- ①学校運営協議会の方針（案）の説明 ②改善案の検討

（4）学習ボランティアについて

（5）夢育やらまいか事業について

11 会議記録

本会は、委員7名のうち7名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。今年度の会長に太田委員が就任した。太田会長と竹田校長の挨拶があった。新学校運営協議会委員6名に任命書が渡され、確認をした。自己紹介と授業参観の感想として、子供たちが笑顔で、明るく雰囲気の良い学校であると感じているとの内容が多かった。今年度の副会長は、委員のうちから太田会長が鈴木一誠委員を指名した。議長は、名簿の順番で、太田会長が鈴木一誠委員を指名した。議長の指示により、太田会長が前回会議録と令和7年度協議会自己評価の議事内容を読み上げた。委員全員で確認し、異議なく承認された。

（1）学校運営構想について

学校の現状と令和8年度学校運営構想を竹田校長が説明した。

- ・本年度は児童数278名で全学年2学級。昨年度、学校運営協議会で話し合っていた本校の強み(成果)や課題をふまえて、教育活動を推進する。
- ・学校教育目標「自ら考え みがき合う子」（主体性と協調性）とし、やさしい子・かしこい子・たくましい子を育てる。
- ・教育推進にあたり、心理的安全性（大人のゆとりと笑顔・「大好き」を見つけよう）PDCA：ステージ制ロードマップ（スタート・チャレンジ・チェンジ・ステップアップ）の推進、子供と保護者、教員、地域の連携、働き方改革の推進をする。

- ・「子供の笑顔・笑顔あふれる未来のために」学校運営を進めていく。
委員からは、下記の発言があった。
- ・温かい学校と社会の厳しさを教える学校であってほしい。(伊藤委員)
- ・AI の活用と効率化の難しさを心配している。(北野谷)

(2) 学校いじめ防止基本方針について

学校いじめ防止基本方針を大桑いじめ対策コーディネーターが資料に沿って説明した。特に(4)いじめに対する措置として、いじめを受けた子への対応は支援・安全確保・傾聴・学校の組織的な対応、いじめた子には指導と助言をすることや、地域や家庭、関係機関との連携を進めていくという説明があった。また、年間計画に沿い、月1回のはあとチェックと年2回のアンケートを実施したり、校内いじめ対策委員会(月1回・随時)で組織的に対応したりしていくという説明があった。

委員からは下記の発言があった。

- ・難しい事案の対応はどのようにしているのか。(伊藤委員)
- ・親と学校が共有して解決方法を探る。必要に応じてモラル講座を開催する。
(大桑いじめ対策コーディネーター)
- ・SNS を行う際の内容の受け止め方が、人によって違うことを子供が理解しているか不安。ゲーム・SNS・オンラインの問題がやはり心配である。(吉田委員)
- ・学校は指導をし、家庭は指導と管理をして対処したい。(高林教務)

(3) 学校運営協議会の方針(案)を太田会長から、今までの取組を続けながらもボランティア活動の充実を図っていくことの説明があった。

(4) 学習ボランティアについて、町田・郁山学習支援コーディネーターから、4月の1年生の給食手伝いと下校指導、安全ボランティアに協力を得たこと、「学習ボランティア紹介者一覧表」の作成の為に情報の収集(情報の本人許可)を計画していることの説明があった。

(5) 夢育やらまいか事業について、吉川教頭からコミュニティ・スクールの広報やボランティアの拡充、児童の授業の充実といった内容の為に予算を執行していくことについての説明があった。

12 連絡事項

- (1) 次回の学校運営協議会(6月9日(火))を予定し、議長は名簿順で伊藤委員が受理と連絡方法(さくら連絡網を活用)について、吉川教頭より依頼があった。
- (2) 学校年間教育活動計画について、高林教務から説明がされた。
- (3) 「ゾーン30プラス」の紹介が、原田樹オブザーバーからされた。